

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3899385号

(P3899385)

(45) 発行日 平成19年3月28日(2007.3.28)

(24) 登録日 平成19年1月12日(2007.1.12)

(51) Int. Cl.		F I		
CO2F	11/02	(2006.01)	CO2F	11/02 Z A B
CO2F	1/28	(2006.01)	CO2F	1/28 P
CO2F	7/00	(2006.01)	CO2F	7/00
EO2B	3/00	(2006.01)	EO2B	3/00

請求項の数 11 (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2005-198202 (P2005-198202)	(73) 特許権者	000211307 中国電力株式会社
(22) 出願日	平成17年7月7日(2005.7.7)		広島県広島市中区小町4番33号
(65) 公開番号	特開2007-14872 (P2007-14872A)	(73) 特許権者	504136568 国立大学法人広島大学
(43) 公開日	平成19年1月25日(2007.1.25)		広島県東広島市鏡山1丁目3番2号
審査請求日	平成18年9月19日(2006.9.19)	(73) 特許権者	591260672 中電技術コンサルタント株式会社
早期審査対象出願			広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
		(74) 代理人	100099667 弁理士 武政 善昭
		(74) 代理人	100120101 弁理士 畑▲崎▼ 昭

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 感潮河川の泥質・水質の改善方法及びこれに使用する浸透柱

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

潮汐の干満がある感潮河川(2)の泥質・水質を改善する方法であって、

堆積泥(4)及び水中のリンを不溶化・固定化し得る透水性の改質材料を、前記感潮河川(2)の河床(3)における堆積泥(4)からその下にある砂層(5)まで貫入し、

前記潮汐の干満を利用して前記改質材料内に水を循環させ、前記堆積泥(4)に酸素を供給することによりその河川の泥質・水質を改善する、ことを特徴とする感潮河川の泥質・水質の改善方法。

【請求項2】

前記感潮河川(2)の河床(3)表面に、所定間隔をおいて上下に縦長の埋込み穴を開け、各埋込み穴に前記改質材料を埋設する、ことを特徴とする請求項1の感潮河川の泥質・水質の改善方法。 10

【請求項3】

前記改質材料を、その上部が前記感潮河川(2)の河床(3)に溜まった堆積泥(4)の表面付近となるように該河床(3)に埋設する、ことを特徴とする請求項1又は2の感潮河川の泥質・水質の改善方法。

【請求項4】

前記河床(3)に埋設した改質材料の上部を覆うように、該河床(3)に覆砂(6)を散布する、ことを特徴とする請求項1、2又は3の感潮河川の泥質・水質の改善方法。

【請求項5】